

平成19年度
学校保健統計調査
福井県の概要

平成20年2月

福井県総務部政策統計課

留意事項

- この報告書は、平成19年度学校保健統計調査（文部科学省所管）について、福井県分の概要をとりまとめたものである。
- この報告書は、福井県ホームページの統計情報（<http://toukei.pref.fukui.jp/>）にて掲載している。
- この数値は速報値であり、後日文部科学省が確定値を公表する。
- 平成19年度学校保健統計調査（速報）については、文部科学省ホームページ（http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/001/h19_sokuhou.htm）にて閲覧できる。

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、児童、生徒および幼児（以下「児童等」という。）の発育状態および健康状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の範囲・対象

県内の小学校、中学校、高等学校および幼稚園のうち、文部科学大臣があらかじめ指定する学校（以下「調査実施校」という。）に在籍する満5歳から17歳（平成19年4月1日現在）までの児童等の中から次表に示す人数を抽出し、調査の対象としている。

調査実施校数および調査対象者数（福井県）

区 分	平成19年6月1日現在(※1)		調査実施校数		調査対象者数					
	学校数	在籍者数	学校数	割合	発育状態			健康状態		
					調査実施校1校当たりの対象人数	実調査人数(※4)	割合	対象人数	実調査人数	割合
a	b	c	d=c/a	e	f	g=f/b	h	i	j=i/b	
計	校	人	校	%		人	%	人	人	%
	469	100,871	147	31.3		12,348	12.2		59,430	58.9
幼稚園(※2)	128	2,659	29	22.7	男女別各 22人	898	33.8	調査実施校に在籍する該当年齢の児童等全員	1,121	42.2
小学校	215	48,715	57	26.5	年齢別男女別各 8人	5,173	10.6		22,405	46.0
中学校	87	25,204	37	42.5	年齢別男女別各 20人	4,207	16.7		17,239	68.4
高等学校(※3)	39	24,293	24	61.5	年齢別男女別各 15人	2,070	8.5		18,665	76.8

※1 平成19年度学校基本調査による。学校数では分校も一校として計上している。

2 幼稚園の在籍者は5歳児のみの園児数を計上している。

3 高等学校の学校数および在籍者には、「通信制課程」を含まない。また、1～3学年のみの生徒数を計上している。

4 発育状態調査の実調査人数は、身長調査に係る実調査人数を計上している。

3 調査事項

- ① 児童等の発育状態 身長、体重、座高
- ② 児童等の健康状態 栄養状態、脊柱・胸郭の疾病・異常の有無、視力、聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽喉頭疾患・皮膚疾患の有無、歯・口腔の疾病・異常の有無、結核の有無、心臓の疾病・異常の有無、尿、寄生虫卵の有無、その他の疾病・異常の有無、結核に関する検診の結果

4 調査期日

平成19年4月1日から6月30日までの間に実施した。

統計表中の符号について

「▲」 → 係数が負数の場合。

「-」 → 該当者がいない場合。

「…」 → 調査対象とならなかった場合。

「X」 → 疾病・異常被患率等の標準誤差が5%以上、受検者数が100人（5歳は50人）未満または回答校が1校以下のため統計数値を公表しない。

調査結果の概要

A 発育状態（身長・体重・座高）

1 福井県の平均値と全国平均値との比較

平成19年度の小学校、中学校、高等学校および幼稚園における児童等の身長、体重および座高の福井県平均値を年齢別にみると表1のとおりである。

また、各年齢の過去1年間の年間発育量は表2のとおりである。

表1 年齢別 身長・体重・座高の平均値

区 分		身 長 (cm)			体 重 (kg)			座 高 (cm)		
		男子	女子	男女差	男子	女子	男女差	男子	女子	男女差
		A	B	A-B	C	D	C-D	E	F	E-F
幼稚園	5歳	111.0	109.9	1.1	19.0	18.7	0.3	62.0	61.6	0.4
	6歳	116.7	115.8	0.9	21.5	21.1	0.4	65.2	64.8	0.4
	7歳	122.2	121.2	1.0	24.2	23.2	1.0	67.7	67.2	0.5
小学校	8歳	128.4	127.9	0.5	27.6	26.8	0.8	70.6	70.5	0.1
	9歳	133.9	133.4	0.5	30.8	29.6	1.2	73.2	72.9	0.3
	10歳	139.3	141.0	▲ 1.7	34.6	34.6	0.0	75.5	76.5	▲ 1.0
	11歳	145.6	146.9	▲ 1.3	<u>39.7</u>	38.5	1.2	78.4	79.6	▲ 1.2
中学校	12歳	152.6	152.6	0.0	44.2	44.0	0.2	81.7	82.6	▲ 0.9
	13歳	160.6	155.8	4.8	49.4	47.9	1.5	<u>85.6</u>	<u>84.5</u>	1.1
	14歳	165.4	157.4	8.0	54.1	50.5	3.6	88.2	<u>85.5</u>	2.7
高等学校	15歳	168.9	157.4	11.5	59.6	51.3	8.3	90.6	85.6	5.0
	16歳	169.8	<u>158.7</u>	11.1	62.2	53.5	8.7	91.3	<u>86.2</u>	5.1
	17歳	171.0	158.7	12.3	63.2	53.5	9.7	92.1	86.1	6.0

(注) 数値の下線は、調査実施以来最高の値であることを示す。

表2 年齢別 過去1年間の発育量

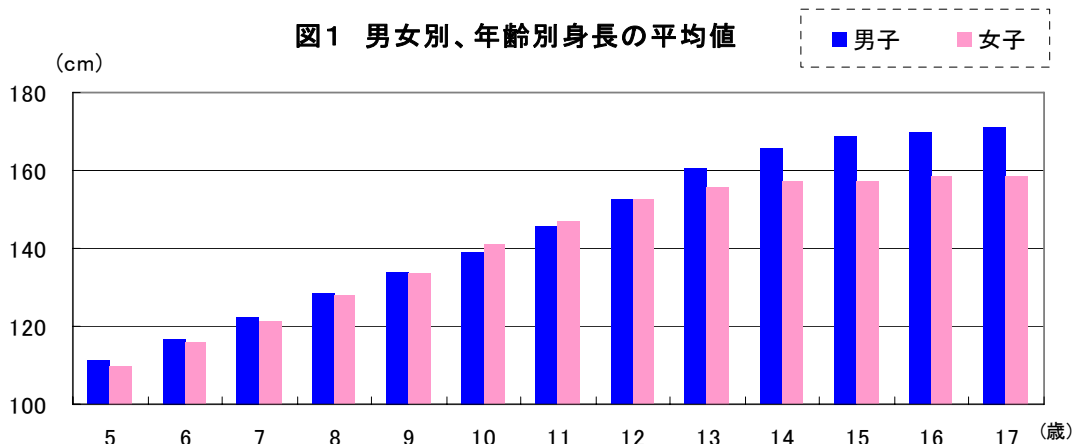
		6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
身長 (cm)	男子	6.1	5.6	5.9	5.6	5.1	6.5	7.3	7.6	5.1	3.1	0.9	0.6
	女子	5.9	5.5	6.4	5.7	6.7	6.6	5.2	3.2	1.3	▲ 0.1	1.1	0.3
体重 (kg)	男子	2.5	2.5	3.4	3.5	3.5	4.8	5.5	4.4	3.9	4.5	1.0	0.7
	女子	2.7	2.3	3.3	3.2	3.9	4.3	4.7	3.4	2.0	0.6	1.4	▲ 0.6
座高 (cm)	男子	2.9	2.5	2.5	2.5	2.1	2.9	3.6	3.9	2.8	2.2	0.8	0.4
	女子	3.1	2.4	3.0	2.6	2.9	3.3	2.7	1.9	1.0	0.1	0.4	▲ 0.1

(1)身長

男子の身長は、5歳（幼稚園）で111.0cm、11歳（小学校6年生）で145.6cm、14歳（中学校3年生）で165.4cm、17歳（高等学校3年生）で171.0cmとなっている。年間の発育量は、13歳の7.6cmを最高に小学校高学年から中学校において大きくなっている。

女子の身長は、5歳で109.9cm、11歳で146.9cm、14歳で157.4cm、17歳で158.7cmとなっている。年間の発育量は、10歳の6.7cmを最高に小学校中学年から高学年において大きくなっている。

10歳と11歳で、女子が男子を上回っているが、それ以外の年齢では12歳で同値となっているほかは、すべて男子が女子を上回っている。



全国平均値と比較すると、男子は7歳および16歳を除いてすべての年齢で上回っている。女子は7歳と9歳をのぞいてすべての年齢で全国平均値以上となっている。

全国における本県の順位をみると、女子は、16歳が全国1位、13歳が2位、17歳が3位となっている。

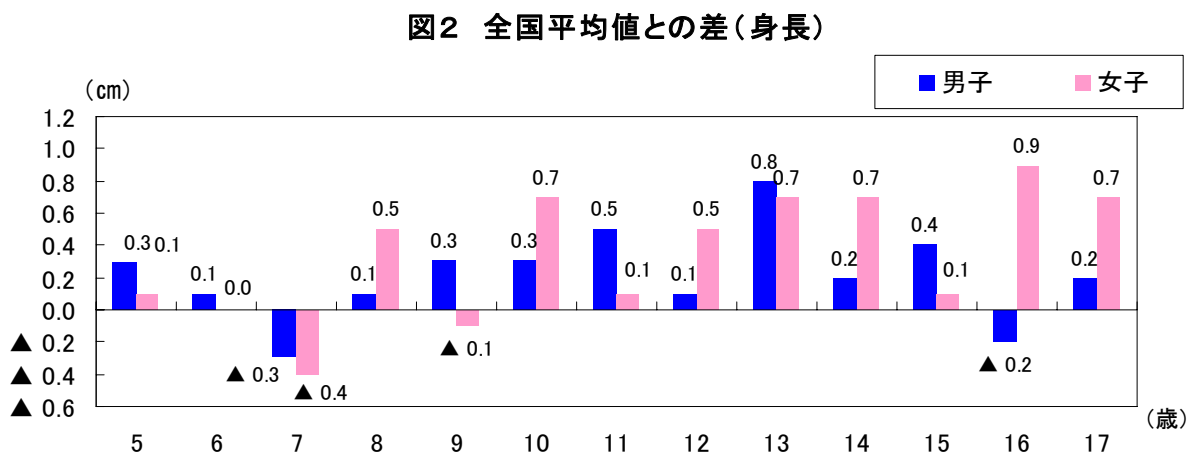


表3 本県の順位(身長)

(単位:cm、位)

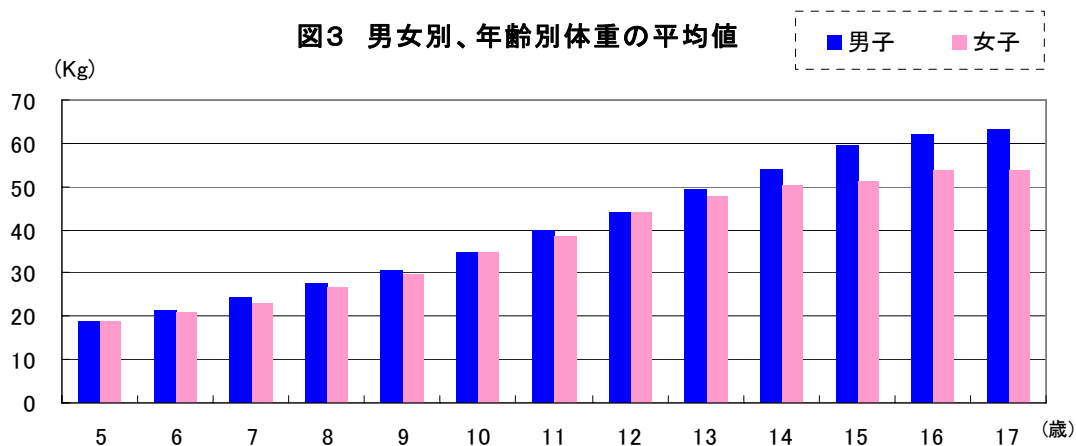
区分	平成19年度							過去の県順位			
	全国平均	県平均	県順位	最高値		最低値		18年度	17年度		
男子	5歳	110.7	111.0	9	111.8	秋田	109.9	香川・沖縄	21	22	
	6	116.6	116.7	17	117.7	秋田	115.6	鹿児島	23	22	
	7	122.5	122.2	35	123.5	青森	121.3	鹿児島	23	33	
	8	128.3	128.4	13	129.3	青森、秋田 山形	126.9	沖縄	16	14	
	9	133.6	133.9	12	134.9	青森	132.2	沖縄	5	12	
	10	139.0	139.3	12	140.7	青森、秋田	137.5	沖縄	16	21	
	11	145.1	145.6	9	147.3	秋田	144.0	沖縄	17	33	
	12	152.5	152.6	18	154.7	秋田	151.1	滋賀	10	16	
	13	159.8	160.6	7	161.8	秋田	158.5	島根	11	12	
	14	165.2	165.4	15	167.0	秋田	163.8	福岡	11	8	
	15	168.5	168.9	7	169.7	秋田、石川	166.9	沖縄	9	6	
	16	170.0	169.8	26	171.2	石川	168.0	沖縄	12	18	
	17	170.8	171.0	19	172.1	石川	169.3	沖縄	29	7	
	女子	5歳	109.8	109.9	19	110.7	青森、岩手 秋田	109.0	埼玉	18	22
		6	115.8	115.8	18	116.7	秋田	114.8	鹿児島	23	9
		7	121.6	121.2	37	122.8	新潟	120.6	鹿児島	24	30
		8	127.4	127.9	7	128.5	青森、秋田 新潟	126.3	山口	12	7
9		133.5	133.4	24	135.6	青森	132.3	鹿児島	4	10	
10		140.3	141.0	6	142.0	青森	138.9	島根	21	7	
11		146.8	146.9	19	148.7	秋田	145.9	山口	10	12	
12		152.1	152.6	6	153.6	秋田	151.1	宮崎	6	14	
13		155.1	155.8	2	156.2	青森	154.1	沖縄	2	7	
14		156.7	157.4	4	157.8	秋田	155.3	沖縄	1	2	
15		157.3	157.4	19	158.4	山形	155.2	沖縄	9	9	
16		157.8	158.7	1	158.7	青森、福井	156.4	沖縄	8	10	
17		158.0	158.7	3	159.4	秋田	156.4	沖縄	8	3	

(2) 体重

男子の体重は、5歳で19.0kg、11歳で39.7kg、14歳で54.1kg、17歳で63.2kgとなっている。年間の発育量は、12歳の5.5kgを最高に小学校高学年から中学校において大きくなっている。

女子の体重は、5歳で18.7kg、11歳で38.5kg、14歳で50.5kg、17歳で53.5kgとなっている。年間の発育量は、12歳の4.7kgを最高に小学校高学年から中学校において大きくなっている。

すべての年齢で男子が女子を上回っている。



全国平均値と比較すると、男子では8歳～11歳および16歳で平均値を上回っているほかは、平均値以下となっている。

女子は9歳で0.4kg、11歳で0.6kg および15歳で0.8kg 平均値を下回っているほかは、平均値に近く、上下0.3kg以内に収まっている。

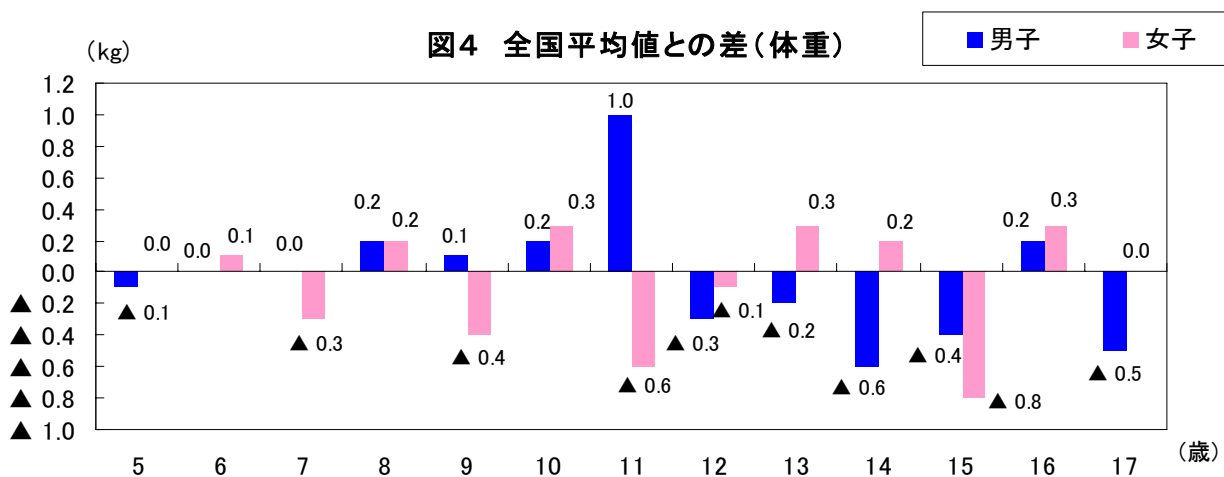


表4 本県の順位(体重)

(単位:kg、位)

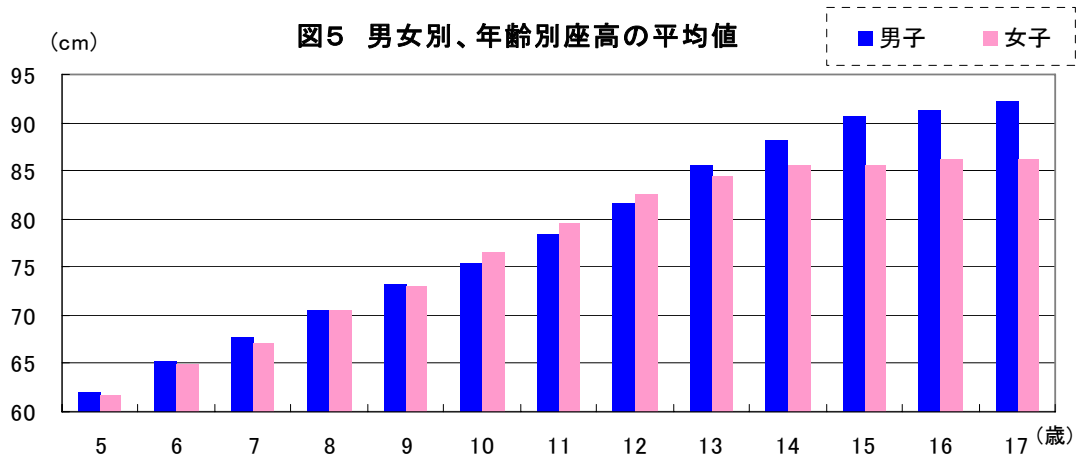
区分	平成19年度							過去の県順位			
	全国平均	県平均	県順位	最高値		最低値		18年度	17年度		
男子	5歳	19.1	19.0	18	19.7	秋田	18.6	岡山	19	33	
	6	21.5	21.5	20	22.4	青森、山形	21.0	静岡、愛知、島根 岡山、愛媛、鹿児島	17	27	
	7	24.2	24.2	24	25.9	青森	23.5	山口	23	23	
	8	27.4	27.6	14	29.0	青森	26.8	滋賀、京都 福岡	24	16	
	9	30.7	30.8	22	33.1	青森	29.8	福岡	18	17	
	10	34.4	34.6	18	37.2	青森	33.2	沖縄	14	34	
	11	38.7	39.7	10	41.2	秋田	37.4	島根	24	40	
	12	44.5	44.2	27	48.2	青森	42.1	滋賀	19	27	
	13	49.6	49.4	22	52.7	秋田	48.0	島根	17	24	
	14	54.7	54.1	34	57.9	秋田	52.6	静岡	22	26	
	15	60.0	59.6	28	63.7	秋田	58.0	島根	8	11	
	16	62.0	62.2	16	65.3	秋田	59.9	沖縄	18	16	
	17	63.7	63.2	30	67.4	青森	61.6	山口	16	13	
	女子	5歳	18.7	18.7	18	19.5	青森	18.3	岡山	36	33
		6	21.0	21.1	19	22.0	青森、岩手	20.6	岐阜、京都 広島	28	14
		7	23.5	23.2	39	24.7	山形	22.9	京都	25	36
		8	26.6	26.8	17	27.9	青森	25.8	山口	28	13
9		30.0	29.6	37	32.5	青森	29.3	愛知、広島	7	30	
10		34.3	34.6	19	36.7	青森	33.0	島根	22	27	
11		39.1	38.5	40	41.2	秋田	37.8	大阪	30	19	
12		44.1	44.0	26	46.4	秋田	43.4	東京、山口	19	25	
13		47.6	47.9	16	50.3	青森	46.8	静岡、兵庫 岡山、山口	9	24	
14		50.3	50.5	17	52.5	青森	49.0	山口	18	17	
15		52.1	51.3	41	55.6	山形	50.6	山口	30	17	
16		53.2	53.5	18	55.7	青森	51.6	山口	7	19	
17		53.5	53.5	22	55.9	秋田	51.6	山口	23	9	

(3) 座高

男子の座高は、5歳で62.0cm、11歳で78.4cm、14歳で88.2cm、17歳で92.1cmとなっている。年間の発育量は、13歳の3.9cmを最高に小学校高学年から中学校において大きくなっている。

女子の座高は、5歳で61.6cm、11歳で79.6cm、14歳で85.5cm、17歳で86.1cmとなっている。年間の発育量は、11歳の3.3cmを最高に小学校中学年から高学年において大きくなっている。

10歳から12歳の間で女子が男子を上回っているが、それ以外の年齢では男子が女子を上回っている。



全国平均値と比較すると、女子の7歳を除いて男女ともすべての年齢で全国平均値以上となっている。

全国における本県の順位をみると、男女ともおおむね全国の上位にあり、女子の14歳と17歳が全国1位、女子の16歳が全国2位、女子の10歳と男女とも13歳が全国3位となっている。

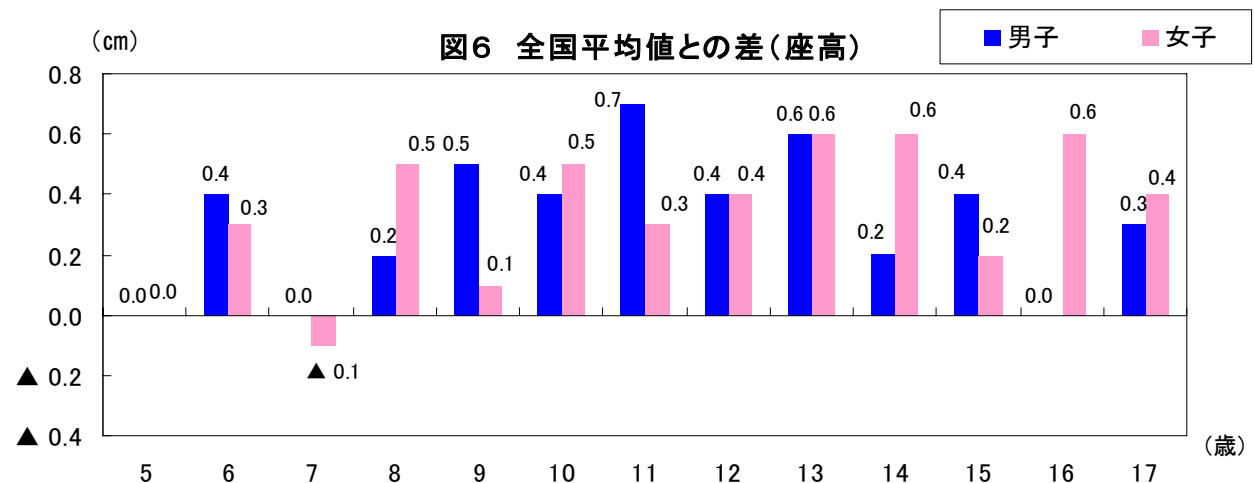


表5 本県の順位(座高)

(単位:cm、位)

区分	平成19年度								過去の県順位		
	全国平均	県平均	県順位	最高値		最低値		18年度	17年度		
男子	5歳	62.0	62.0	24	62.6	秋田	61.3	大分	13	20	
	6	64.8	65.2	4	65.5	秋田、富山	64.2	宮崎	5	9	
	7	67.7	67.7	23	68.2	青森、山形	67.2	広島、山口 沖縄	3	20	
	8	70.4	70.6	7	71.0	山形	69.8	沖縄	5	4	
	9	72.7	73.2	5	73.5	秋田	72.1	沖縄	2	10	
	10	75.1	75.5	6	76.0	秋田	74.3	沖縄	3	9	
	11	77.7	78.4	6	78.7	秋田、石川	77.0	沖縄	9	25	
	12	81.3	81.7	12	82.7	秋田	80.5	鹿児島	12	14	
	13	85.0	85.6	3	86.1	秋田	84.2	山口	10	8	
	14	88.0	88.2	16	89.1	秋田	87.0	山口	9	7	
	15	90.2	90.6	8	91.1	秋田	89.5	香川、鹿児島	11	4	
	16	91.3	91.3	20	91.9	石川	90.4	沖縄	4	9	
	17	91.8	92.1	7	92.5	石川	91.1	山口、福岡	24	2	
	女子	5歳	61.6	61.6	20	62.1	宮城、秋田	61.1	三重、山口 沖縄	16	28
		6	64.5	64.8	6	64.9	岩手、秋田、富山 三重、鳥取	64.0	宮崎	8	8
		7	67.3	67.2	30	67.9	秋田、富山	66.9	大分	11	12
		8	70.0	70.5	4	70.7	富山、石川	69.4	山口	6	4
9		72.8	72.9	14	73.8	青森	72.2	鹿児島	2	5	
10		76.0	76.5	3	76.9	青森	75.6	長野、京都 島根	9	6	
11		79.3	79.6	12	80.3	秋田	78.8	山梨、大阪	4	11	
12		82.2	82.6	7	83.3	秋田	81.7	宮崎	7	10	
13		83.9	84.5	3	84.7	秋田	83.3	山口	3	7	
14		84.9	85.5	1	85.5	富山、石川 福井	84.1	沖縄	1	2	
15		85.4	85.6	11	86.2	宮城、山形	84.4	沖縄	6	4	
16		85.6	86.2	2	86.3	滋賀	84.9	山口	2	6	
17		85.7	86.1	1	86.1	宮城、秋田、山形、富山 福井、京都、大阪	85.1	大分、沖縄	4	1	

2 身長・体重・座高の推移

(1) 身長

過去4年間、10年前、30年前および50年前の福井県平均値は表6のとおりである。

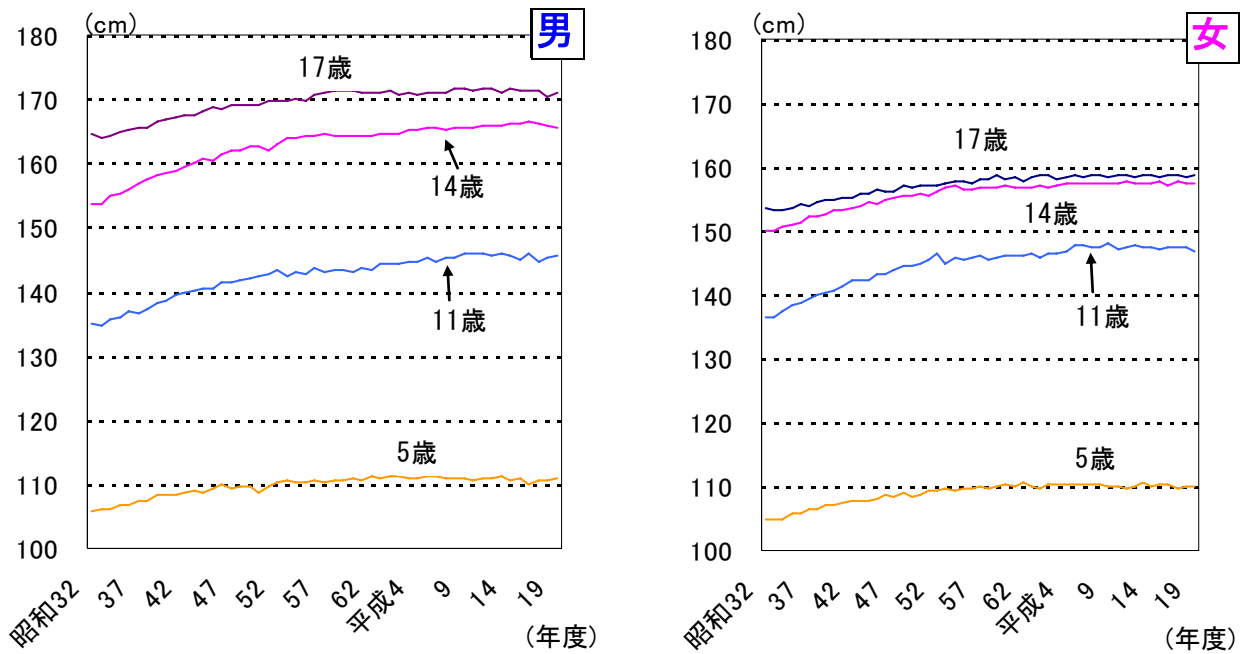
表6 男女別、年齢別 身長の推移

(単位：cm)

区 分			年 度							身 長 差				
			50年前 昭和 32年度 A	30年前 昭和 52年度 B	10年前 平成 9年度 C	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度 D	現在と 50年前 D-A	現在と 30年前 D-B	現在と 10年前 D-C	
男 子	幼稚園	5歳	105.8	110.3	111.0	110.8	111.0	110.6	110.6	111.0	5.2	0.7	0.0	
		6歳	110.6	115.8	116.7	116.8	116.8	116.6	116.6	116.7	6.1	0.9	0.0	
		7歳	116.0	121.3	122.9	122.6	122.4	122.1	122.5	122.2	6.2	0.9	▲ 0.7	
	小学校	8歳	121.0	126.6	128.3	<u>128.8</u>	128.6	128.4	128.3	128.4	7.4	1.8	0.1	
		9歳	126.3	132.0	134.0	133.9	133.2	133.9	134.2	133.9	7.6	1.9	▲ 0.1	
		10歳	130.1	137.5	139.5	139.4	139.5	139.0	139.1	139.3	9.2	1.8	▲ 0.2	
		11歳	135.0	143.4	145.8	145.0	145.8	144.8	145.3	145.6	10.6	2.2	▲ 0.2	
	中学校	12歳	140.4	149.4	152.9	152.4	152.5	152.7	153.0	152.6	12.2	3.2	▲ 0.3	
		13歳	146.8	157.1	160.0	160.2	160.1	160.4	160.3	160.6	13.8	3.5	0.6	
		14歳	153.5	163.1	165.5	166.2	<u>166.5</u>	166.1	165.8	165.4	11.9	2.3	▲ 0.1	
	高等学校	15歳	160.3	167.0	169.1	168.8	168.7	169.2	168.9	168.9	8.6	1.9	▲ 0.2	
		16歳	163.2	168.8	<u>170.9</u>	170.6	170.3	170.1	170.4	169.8	6.6	1.0	▲ 1.1	
		17歳	164.7	169.8	171.6	171.4	171.4	171.3	170.5	171.0	6.3	1.2	▲ 0.6	
	女 子	幼稚園	5歳	104.8	109.3	109.9	110.2	110.3	109.8	109.9	109.9	5.1	0.6	0.0
			6歳	109.5	114.9	115.9	115.8	115.7	116.1	115.7	115.8	6.3	0.9	▲ 0.1
			7歳	114.8	120.2	122.2	122.1	121.8	121.4	121.5	121.2	6.4	1.0	▲ 1.0
		小学校	8歳	120.3	126.3	127.9	127.8	127.9	127.9	127.7	127.9	7.6	1.6	0.0
9歳			125.3	132.2	134.0	134.2	133.8	133.9	134.3	133.4	8.1	1.2	▲ 0.6	
10歳			130.1	137.6	141.0	140.6	141.0	140.8	140.3	141.0	10.9	3.4	0.0	
11歳			136.4	146.4	<u>148.2</u>	147.1	147.5	147.3	147.4	146.9	10.5	0.5	▲ 1.3	
中学校		12歳	142.6	150.5	152.5	152.5	152.6	152.1	152.6	152.6	10.0	2.1	0.1	
		13歳	146.9	153.8	155.6	155.7	155.9	155.6	<u>156.1</u>	155.8	8.9	2.0	0.2	
		14歳	149.9	156.1	157.3	<u>157.7</u>	157.1	157.6	157.5	157.4	7.5	1.3	0.1	
高等学校		15歳	152.6	157.2	157.9	157.6	158.0	157.7	157.6	157.4	4.8	0.2	▲ 0.5	
		16歳	153.2	157.2	158.4	158.1	158.3	158.1	158.4	<u>158.7</u>	5.5	1.5	0.3	
		17歳	153.5	157.0	158.4	158.3	158.6	158.7	158.5	158.7	5.2	1.7	0.3	

(注) 数値の下線は、調査実施以来の最高値であることを示す。

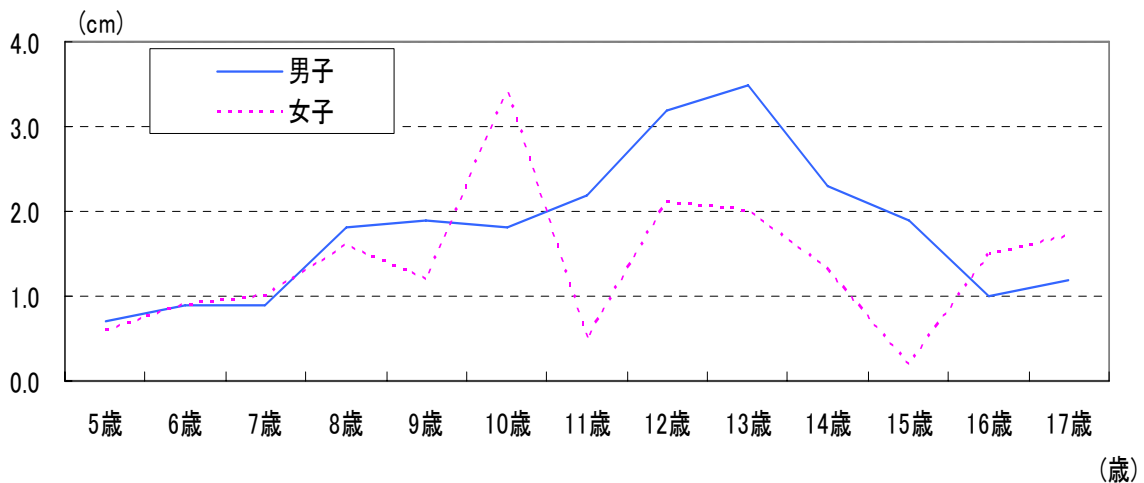
図7 平均身長推移(昭和32～平成19年度)



50年前と比較すると、男子では5歳で5.2cm、11歳で10.6cm、14歳で11.9cm、17歳で6.3cm、女子では5歳で5.1cm、11歳で10.5cm、14歳で7.5cm、17歳で5.2cm高くなっている。男女ともに5歳、17歳ではここ20年ほど、11歳、14歳ではここ10年ほど、横ばい状態となっている。

親の世代(30年前の同じ年齢の者=昭和52年度調査値)と比較すると、男子では中学校において、女子では小学校高学年から中学校において、身長差が大きくなっている。

図8 親子世代間の身長差(平成19年度調査値-昭和52年度調査値)



(2) 体重

過去4年間、10年前、30年前および50年前の福井県平均値は表7のとおりである。

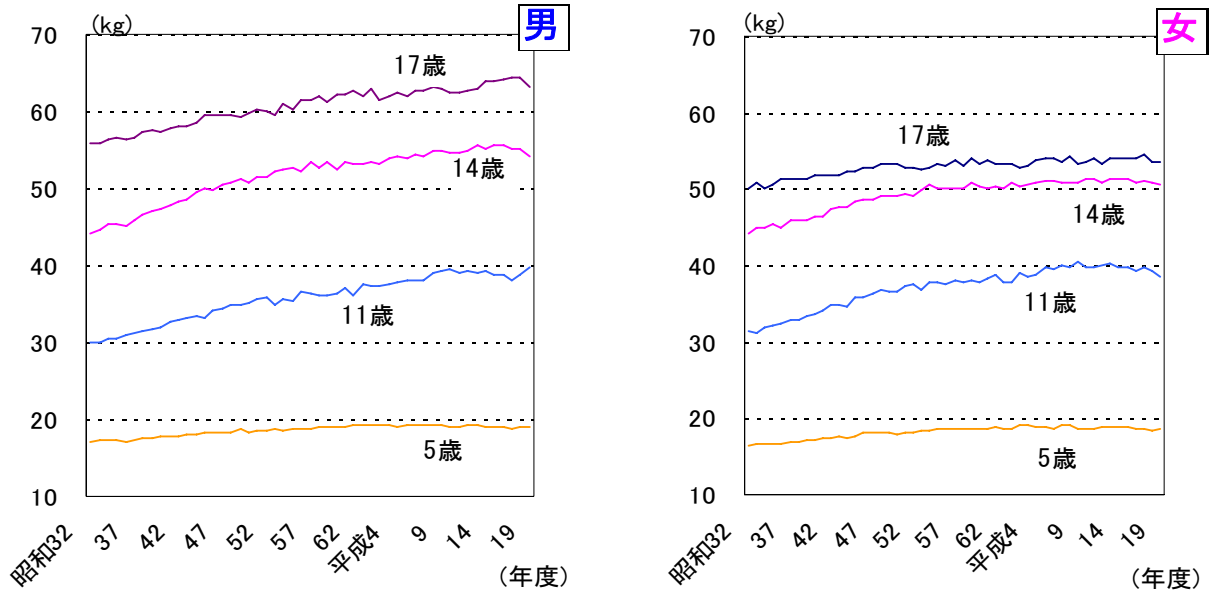
表7 男女別、年齢別 体重の推移

(単位：kg)

区 分			年 度							身 長 差				
			50年前 昭和 32年度 A	30年前 昭和 52年度 B	10年前 平成 9年度 C	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度 D	現在と 50年前 D-A	現在と 30年前 D-B	現在と 10年前 D-C	
男 子	幼稚園	5歳	17.0	18.6	19.2	19.0	19.0	18.9	19.0	19.0	2.0	0.4	▲ 0.2	
		6歳	18.6	20.5	21.4	21.7	21.7	21.5	21.7	21.5	2.9	1.0	0.1	
		7歳	20.6	22.8	24.4	24.7	24.0	24.2	24.2	24.2	3.6	1.4	▲ 0.2	
	小学校	8歳	22.8	25.9	27.7	27.9	27.8	27.7	27.3	27.6	4.8	1.7	▲ 0.1	
		9歳	25.1	28.4	31.1	31.3	30.2	31.0	31.1	30.8	5.7	2.4	▲ 0.3	
		10歳	27.1	31.5	34.9	35.2	34.5	34.3	34.9	34.6	7.5	3.1	▲ 0.3	
		11歳	30.1	35.8	39.3	38.7	38.9	38.1	38.7	39.7	9.6	3.9	0.4	
	中学校	12歳	33.8	40.4	44.8	44.6	44.0	44.5	45.0	44.2	10.4	3.8	▲ 0.6	
		13歳	38.8	46.1	50.0	49.2	49.3	49.7	50.2	49.4	10.6	3.3	▲ 0.6	
		14歳	44.1	51.4	55.0	55.7	55.6	55.2	55.1	54.1	10.0	2.7	▲ 0.9	
	高等学校	15歳	50.6	55.2	59.8	60.8	60.8	61.5	61.2	59.6	9.0	4.4	▲ 0.2	
		16歳	54.2	58.1	61.7	62.9	62.8	62.5	62.5	62.2	8.0	4.1	0.5	
		17歳	55.9	59.9	62.9	63.9	64.1	64.4	64.5	63.2	7.3	3.3	0.3	
	女 子	幼稚園	5歳	16.5	18.1	18.7	18.8	18.7	18.5	18.4	18.7	2.2	0.6	0.0
			6歳	18.1	20.0	21.1	21.3	20.9	21.2	20.9	21.1	3.0	1.1	0.0
			7歳	20.0	22.3	23.9	24.0	23.8	23.4	23.5	23.2	3.2	0.9	▲ 0.7
		小学校	8歳	22.2	25.1	26.9	26.7	26.8	26.9	26.4	26.8	4.6	1.7	▲ 0.1
9歳			24.6	28.3	30.6	30.8	30.2	29.9	30.7	29.6	5.0	1.3	▲ 1.0	
10歳			27.2	31.6	35.6	34.7	34.8	34.3	34.2	34.6	7.4	3.0	▲ 1.0	
11歳			31.3	37.6	40.4	39.7	39.3	39.7	39.3	38.5	7.2	0.9	▲ 1.9	
中学校		12歳	36.3	42.2	44.8	44.5	44.8	44.4	44.5	44.0	7.7	1.8	▲ 0.8	
		13歳	40.7	46.2	48.2	48.5	48.0	47.9	48.5	47.9	7.2	1.7	▲ 0.3	
		14歳	44.3	49.2	50.7	51.4	50.8	51.0	50.7	50.5	6.2	1.3	▲ 0.2	
高等学校		15歳	47.3	52.1	52.2	52.8	52.5	52.8	52.1	51.3	4.0	▲ 0.8	▲ 0.9	
		16歳	49.2	52.6	53.3	54.5	53.5	53.6	54.1	53.5	4.3	0.9	0.2	
		17歳	50.2	52.8	53.3	53.9	54.0	54.4	53.6	53.5	3.3	0.7	0.2	

(注) 数値の下線は、調査実施以来の最高値であることを示す。

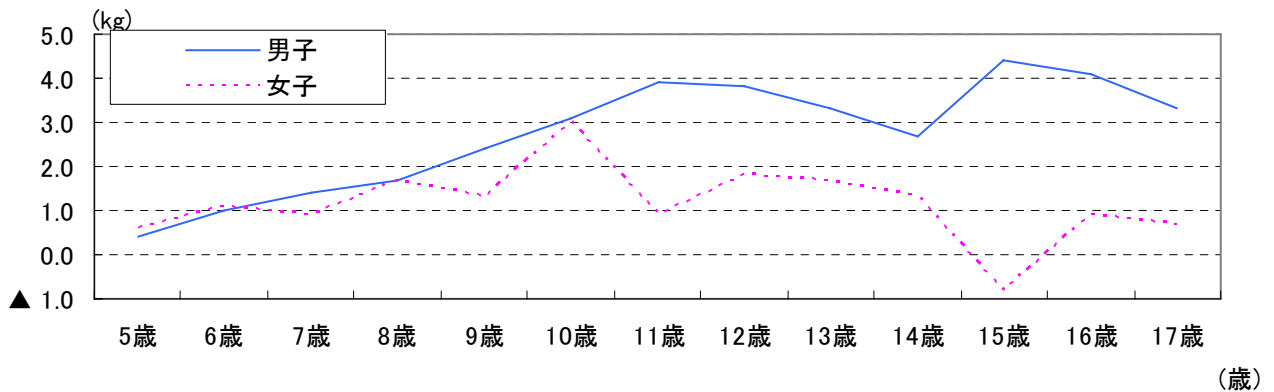
図9 平均体重の推移(昭和32～平成19年度)



50年前と比較すると、男子では5歳で2.0kg、11歳で9.6kg、14歳で10.0kg、17歳で7.3kg、女子では2.2kg、11歳で7.2kg、14歳で6.2kg、17歳で3.3kg重くなっている。男女とも5歳では、ここ20年ほど横ばいになっている。また、男女ともに、11歳ではここ10年ほど、14歳ではここ数年、横ばい状態となっている。男子の17歳では、上昇傾向にあったが、ほぼ頭打ちの状態である。女子の17歳では、ここ20年ほど横ばい状態である。

親の世代(30年前の同じ年齢の者=昭和52年度調査値)と比較すると、男子では年齢が上がるにつれて体重差が大きくなるが、女子では中学校以降、体重差が小さくなる傾向にある。

図10 親子世代間の体重差(平成19年度調査値-昭和52年度調査値)



(3)座高

過去4年間、10年前、30年前および50年前の福井県平均値は表8のとおりである。

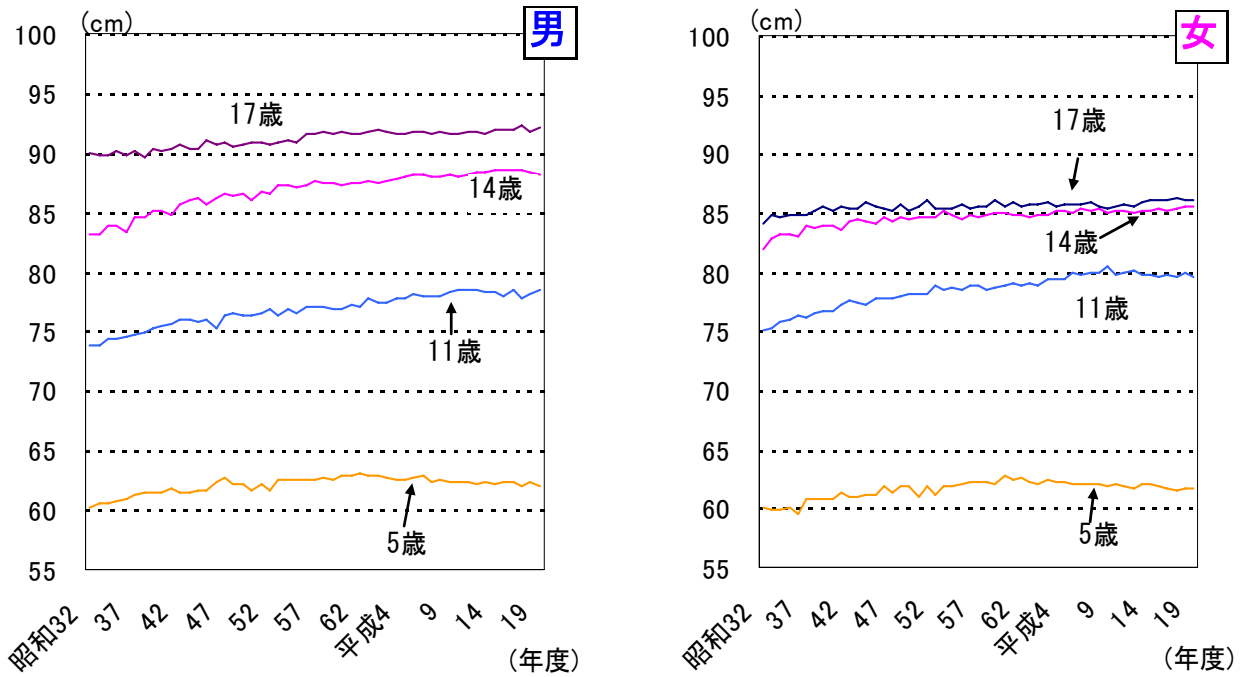
表8 男女別、年齢別 座高の推移

(単位：cm)

区 分			年 度							座 高 差				
			50年前	30年前	10年前	平成	平成	平成	平成	平成	現在と	現在と	現在と	
			昭和	昭和	平成	平成	平成	平成	平成	50年前	30年前	10年前		
			A	B	C	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	D-A	D-B	D-C	
男	幼稚園	5歳	60.2	61.7	62.4	62.3	62.3	62.0	62.3	62.0	1.8	0.3	▲ 0.4	
		6歳	63.2	65.0	65.3	65.5	65.3	65.1	65.2	65.2	2.0	0.2	▲ 0.1	
		7歳	65.7	67.5	68.3	68.0	67.9	67.6	68.1	67.7	2.0	0.2	▲ 0.6	
	小学校	8歳	68.1	70.0	70.9	70.9	70.8	70.7	70.7	70.6	2.5	0.6	▲ 0.3	
		9歳	70.3	72.2	<u>73.5</u>	73.2	72.7	72.9	73.4	73.2	2.9	1.0	▲ 0.3	
		10歳	71.9	74.5	75.7	75.7	75.5	75.3	75.5	75.5	3.6	1.0	▲ 0.2	
		11歳	73.9	76.9	78.3	78.0	78.4	77.7	78.1	78.4	4.5	1.5	0.1	
	中学校	12歳	76.5	79.6	81.8	81.5	81.5	81.5	81.7	81.7	5.2	2.1	▲ 0.1	
		13歳	79.5	83.6	85.1	85.2	85.1	85.4	85.4	<u>85.6</u>	6.1	2.0	0.5	
		14歳	83.1	86.6	88.1	<u>88.6</u>	<u>88.6</u>	88.5	88.4	88.2	5.1	1.6	0.1	
	高等学校	15歳	87.2	89.5	90.3	90.5	90.3	<u>90.8</u>	90.5	90.6	3.4	1.1	0.3	
		16歳	88.8	90.4	91.0	91.5	91.2	91.4	<u>91.7</u>	91.3	2.5	0.9	0.3	
		17歳	90.0	90.7	91.5	92.0	92.0	<u>92.3</u>	91.7	92.1	2.1	1.4	0.6	
	女	幼稚園	5歳	60.0	61.1	61.9	61.9	61.6	61.5	61.7	61.6	1.6	0.5	▲ 0.3
			6歳	62.7	64.5	64.9	64.8	64.8	64.8	64.8	64.8	2.1	0.3	▲ 0.1
			7歳	65.2	66.9	68.0	67.8	67.7	67.4	67.5	67.2	2.0	0.3	▲ 0.8
		小学校	8歳	67.8	70.0	70.7	70.4	70.6	70.4	70.3	70.5	2.7	0.5	▲ 0.2
9歳			70.1	72.2	73.4	73.3	73.2	73.2	73.6	72.9	2.8	0.7	▲ 0.5	
10歳			72.2	74.6	76.7	76.4	76.5	76.3	76.3	76.5	4.3	1.9	▲ 0.2	
11歳			75.1	78.9	<u>80.5</u>	79.6	79.7	79.6	79.9	79.6	4.5	0.7	▲ 0.9	
中学校		12歳	77.8	81.6	82.7	82.6	82.7	82.4	82.6	82.6	4.8	1.0	▲ 0.1	
		13歳	80.1	83.4	84.1	84.2	84.2	84.2	<u>84.5</u>	<u>84.5</u>	4.4	1.1	0.4	
		14歳	82.0	84.6	85.0	85.3	85.1	85.4	<u>85.5</u>	<u>85.5</u>	3.5	0.9	0.5	
高等学校		15歳	83.5	85.7	85.6	85.8	<u>85.9</u>	85.8	85.8	85.6	2.1	▲ 0.1	0.0	
		16歳	84.1	85.4	85.4	85.9	85.9	85.9	<u>86.2</u>	<u>86.2</u>	2.1	0.8	0.8	
		17歳	84.1	85.4	85.3	86.0	86.0	<u>86.3</u>	86.1	86.1	2.0	0.7	0.8	

(注) 数値の下線は、調査実施以来の最高値であることを示す。

図11 平均座高の推移(昭和32～平成19年度)



50年前と比較すると、男子では5歳で1.8cm、11歳で4.5cm、14歳で5.1cm、17歳で2.1cm、女子では5歳で1.6cm、11歳で4.5cm、14歳で3.5cm、17歳で2.0cm高くなっている。5歳では男女とも、20年ほど前にピークを迎え、その後低下してきたが、この10年ほどは横ばいである。11歳では、男女ともこの10年ほどは横ばいになっている。また、14歳では、男子はここ10年ほど横ばいとなっている。女子もここ10年ほどほぼ横ばいとなっているが、平成19年度は過去最高値だった前年度と同値を記録した。17歳では、男子はここ20年ほど横ばいであり、女子は、ここ数年横ばいである。

親の世代(30年前の同じ年齢の者=昭和52年度調査値)と比較すると、男子では中学校において、女子では小学校中学年から高学年において、座高の差が大きくなっている。

図12 親子世代間の座高の差(平成19年度調査値-昭和52年度調査値)

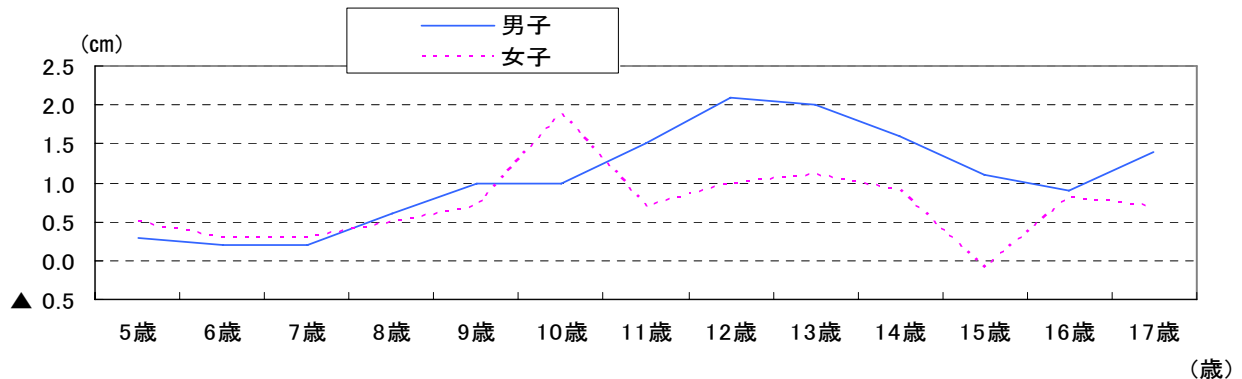
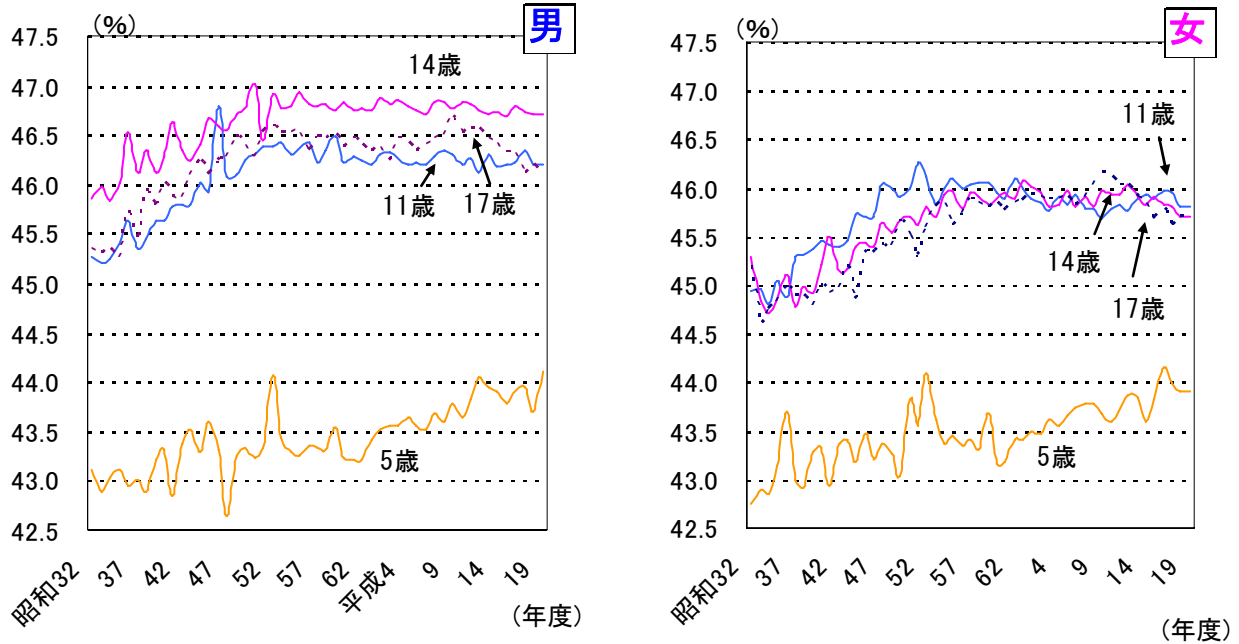


図13 身長に占める足の長さの割合の推移(昭和32～平成19年度)

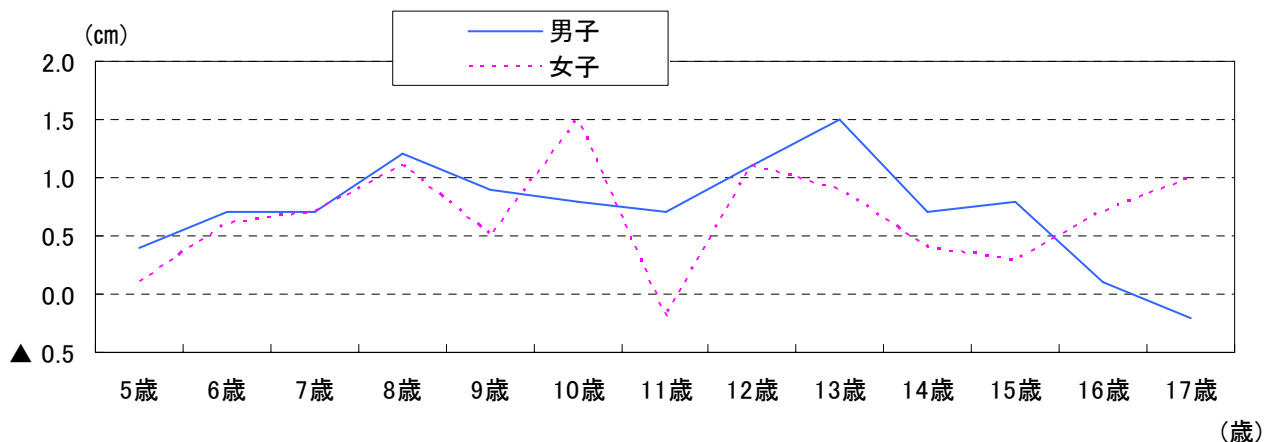


身長に占める足の長さ(身長－座高)の割合は、男子、女子ともに5歳では上昇傾向が続いているが、11歳、14歳では、ここ30年ほど横ばい状態、17歳では、ここ10年ほど低下傾向にある。

親の世代(30年前の同じ年齢の者＝昭和52年度調査値)と足の長さを比較すると、男子では中学校においてその差が大きくなっている。しかし、高等学校では差が小さくなり、17歳では親の世代より短くなっている。

女子では11歳では親の世代より短くなっているほかは、親の世代より足が長くなっている。

図14 親子世代間の足の長さの差(平成19年度調査値－昭和52年度調査値)



B 健康状態（主な疾病・異常等）

1 主な疾病・異常等の推移

主な疾病・異常等について、その割合の推移をみると表9のとおりである。

表9 主な疾病・異常の推移

(単位:%)

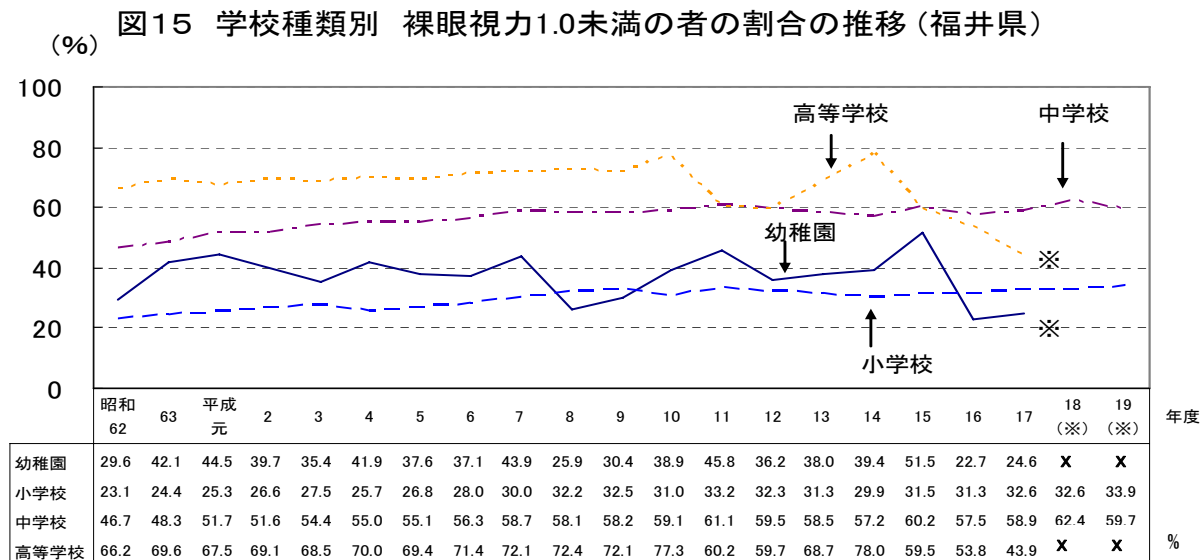
区 分		裸 眼 視 力 1.0 未 満 の 者	耳 疾 患	鼻 ・ 副 鼻 腔 疾 患	口 腔 咽 喉 頭 疾 患 ・ 異 常	む し 歯 (う 歯)	ア ト ピー 性 皮 膚 炎 (※)	心 電 図 異 常	蛋 白 検 出 の 者	寄 生 虫 卵 保 有 者	ぜ ん 息
幼稚園	平成19年度	X	2.6	8.7	1.7	X	1.7	…	0.1	—	1.0
	18	X	X	1.5	5.6	61.1	3.7	…	0.7	—	2.1
	17	24.6	1.0	3.6	2.0	65.6	…	…	0.3	0.3	0.8
	16	22.7	2.8	4.8	1.5	65.5	…	…	0.1	0.3	1.1
	15	51.5	3.2	3.0	5.2	68.9	…	…	0.1	0.2	0.5
	9	30.4	2.3	8.6	4.0	82.0	…	…	0.3	1.0	0.6
小学校	平成19年度	33.9	2.6	9.0	3.6	76.4	7.5	1.8	0.3	0.3	4.9
	18	32.6	1.7	8.4	2.9	75.9	7.1	2.7	0.4	0.3	4.1
	17	32.6	2.0	8.0	2.5	77.4	…	2.1	0.2	0.4	2.6
	16	31.3	1.2	5.3	2.5	77.4	…	3.0	0.3	0.7	2.5
	15	31.5	1.8	5.9	4.6	80.2	…	2.9	0.2	0.4	2.6
	9	32.5	2.1	6.0	3.4	87.9	…	1.8	0.4	1.4	2.0
中学校	平成19年度	59.7	1.6	7.0	1.1	67.1	4.5	1.8	1.2	…	2.3
	18	62.4	1.7	6.4	1.2	66.9	4.7	1.3	1.5	…	2.6
	17	58.9	1.3	7.2	0.9	70.4	…	2.0	1.2	…	2.1
	16	57.5	1.1	5.2	0.9	72.4	…	2.0	0.9	…	1.8
	15	60.2	0.8	4.9	1.1	72.6	…	1.8	0.9	…	1.7
	9	58.2	0.5	2.4	0.4	86.0	…	2.9	1.7	…	0.9
高等学校	平成19年度	X	0.2	4.7	0.2	78.3	4.6	2.0	1.5	…	1.9
	18	X	0.4	5.3	1.2	77.2	4.3	2.0	1.6	…	1.6
	17	43.9	0.6	3.6	1.0	80.9	…	3.7	1.0	…	1.6
	16	53.8	0.5	2.9	1.2	82.5	…	1.4	1.0	…	1.7
	15	59.5	0.3	3.0	0.8	83.4	…	2.2	0.7	…	1.2
	9	72.1	0.5	1.7	1.0	89.5	…	2.5	1.8	…	0.9

(注) 小数点以下第2位を四捨五入している。また、表中の符号については、P2下の囲みを参照のこと。
また、アトピー性皮膚炎は平成18年度から集計対象となっている。

2 視力、むし歯、ぜん息およびアトピー性皮膚炎の状況

(1) 裸眼視力 1.0 未満の者

裸眼視力 1.0 未満の者の割合は、小学校で 33.9%、中学校で 59.7% となっており、小学校と中学校はともに横ばい状況にある。(※平成 18、19 年度においては福井県の高等学校、幼稚園の調査結果は未公表となっている。)



※ 平成18、19年度の高等学校、幼稚園の調査結果は未公表

全国平均値と比較すると、裸眼視力 1.0 未満の者の割合は、小学校、中学校において、ともに全国平均値を上回っている。

表10 全国平均値との比較(視力)

(単位:%)

区分	福井県				全国			
	裸眼視力 1.0 未満 の 者	うち			裸眼視力 1.0 未満 の 者	うち		
		0.7以上 1.0未満 の 者	0.3以上 0.7未満 の 者	0.3 未満 の 者		0.7以上 1.0未満 の 者	0.3以上 0.7未満 の 者	0.3 未満 の 者
幼稚園	X	X	X	X	26.2	18.9	6.8	0.5
小学校	33.9	10.5	13.6	9.8	28.1	10.6	11.0	6.5
中学校	59.7	9.4	18.4	32.0	51.2	13.3	17.6	20.3
高等学校	X	X	X	X	55.4	12.4	16.9	26.1

※福井県の高等学校、幼稚園の調査結果は未公表。

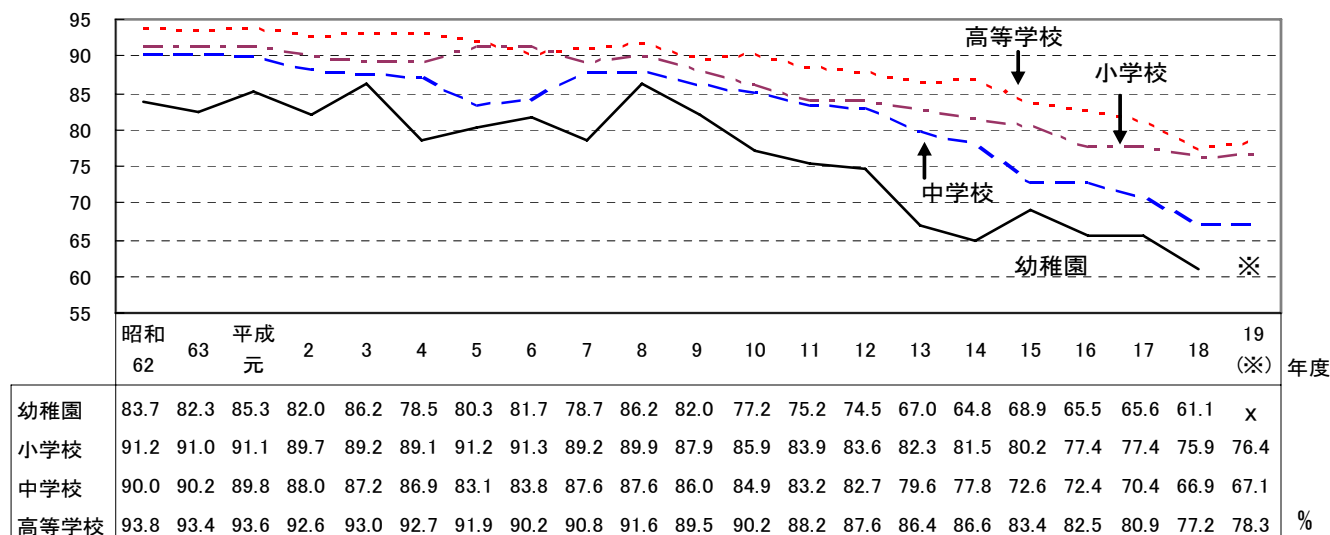
四捨五入しているため計と内訳が一致しない場合がある。以下の各表について同じ。

(2)むし歯（う歯）のある者

むし歯のある者の割合（処置完了者を含む）は、小学校で76.4%、中学校で67.1%、高等学校78.3%となっており、どの学校区分でも前年度より増加している。（※平成19年度の福井県の幼稚園の調査結果は未公表となっている。）

20年前の昭和62年度においては、幼稚園で83.7%、小学校で91.2%、中学校で90.0%、高等学校で93.8%と高率であったが、10年ほど前から大きく減少してきた。

(%) 図16 学校種別 むし歯のある者の割合の推移（福井県）



※ 平成19年度の幼稚園の調査結果は未公表

全国平均値と比較すると、むし歯のある者の割合は、すべての学校区分において全国平均値を上回っている。（※平成19年度の福井県の幼稚園の調査結果は未公表となっている。）

表11 全国平均値との比較(むし歯のある者の割合)

区 分	平成19年度（単位：％）					
	福井県			全国		
	計	処置完了の者	ある未処置歯の者	計	処置完了の者	ある未処置歯の者
幼稚園	x	x	x	53.7	20.7	33.0
小学校	76.4	33.8	42.6	65.5	31.2	34.3
中学校	67.1	33.1	34.0	58.1	31.0	27.1
高等学校	78.3	39.4	38.9	68.5	38.2	30.3

12歳の永久歯の一人当たり平均むし歯の本数も全国平均値を上回る傾向が続いている。

表12 12歳の永久歯の一人当たり平均むし歯（う歯）の本数の推移
（単位：本）

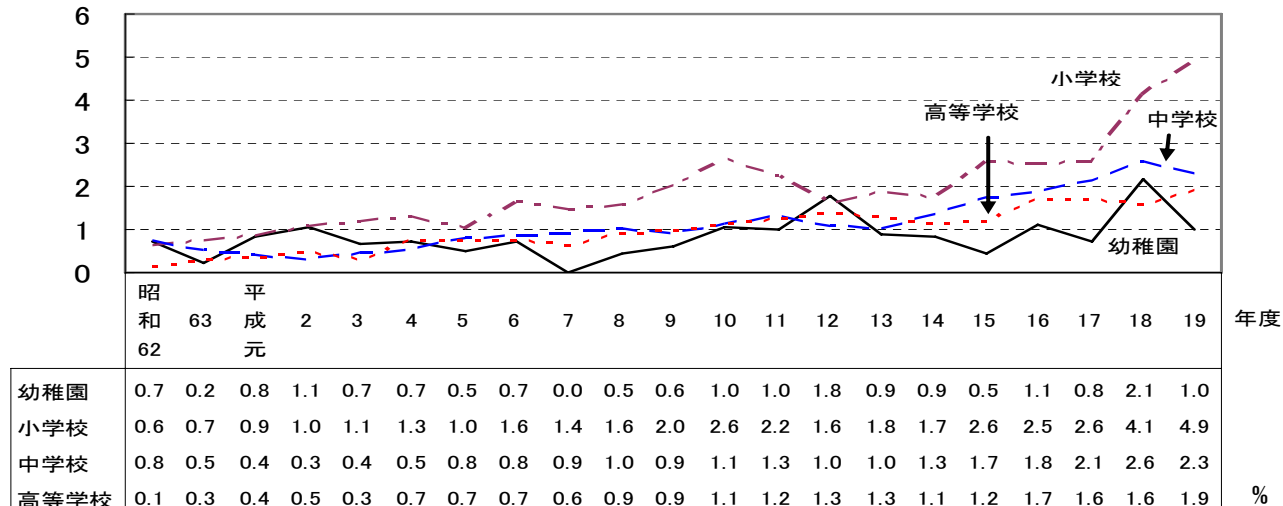
区 分	平成16年	17年	18年	19年
福井県	2.4	2.4	2.1	2.1
全 国	1.9	1.8	1.7	1.6

(3) ぜん息の者

ぜん息の者の割合は、幼稚園で1.0%、小学校で4.9%、中学校で2.3%、高等学校で1.9%となっている。

20年前の昭和62年度においては、幼稚園で0.7%、小学校で0.6%、中学校で0.8%、高等学校で0.1%であり、ぜんそくの者の割合は、この20年間で大きく増えている。特に近年、小学校での増加が著しい。

(%) 図17 学校種別 ぜん息の者の割合の推移 (福井県)



全国平均値と比較すると、平成19年度においては、幼稚園と中学校が全国平均値を下回っているが、小学校と高等学校では全国平均値を上回っている。

表13 全国平均値との比較(ぜん息の者の割合)

(単位: %)

区分	福井県			全国		
	昭和62年	平成9年	平成19年	昭和62年	平成9年	平成19年
幼稚園	0.7	0.6	1.0	0.7	0.9	2.2
小学校	0.6	2.0	4.9	1.0	1.7	3.9
中学校	0.8	0.9	2.3	0.8	1.4	3.1
高等学校	0.1	0.9	1.9	0.4	0.9	1.8

(4) アトピー性皮膚炎の者 (平成18年度調査から集計対象)

アトピー性皮膚炎の者の割合は、幼稚園で1.7%、小学校で7.5%、中学校で4.5%、高等学校で4.6%となっている。

全国平均値と比較すると、昨年度と同様、幼稚園は全国平均を下回っているが、ほかは全国平均値を上回っている。

表14 全国平均値との比較(アトピー性皮膚炎の者の割合)

(単位: %)

区分	福井県		全国	
	平成18年	平成19年	平成18年	平成19年
幼稚園	3.7	1.7	3.8	3.2
小学校	7.1	7.5	3.6	3.6
中学校	4.7	4.5	2.8	2.8
高等学校	4.3	4.6	2.2	2.3

3 健康状態調査結果表

平成19年度 (単位：%)

区 分		合計				男子				女子				
		幼稚園	小学校	中学校	高等学校	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	
裸眼視力	計 (1.0未満)	X	33.9	59.7	X	X	31.2	56.4	56.5	X	36.8	63.3	X	
	1.0未満～0.7以上	X	10.5	9.4	X	X	9.1	8.8	14.8	X	11.9	10.0	X	
	0.7未満～0.3以上	X	13.6	18.4	X	X	13.2	18.5	25.0	X	14.1	18.2	X	
	0.3未満	X	9.8	32.0	X	X	8.8	29.2	16.7	X	10.7	35.1	X	
眼の疾病・異常		0.6	3.2	1.0	0.4	1.0	3.3	1.0	0.4	0.3	3.2	1.1	0.3	
難 聴		…	0.5	0.5	0.9	…	0.5	0.5	1.0	…	0.5	0.6	0.7	
耳鼻咽喉頭	耳 疾 患	2.6	2.6	1.6	0.2	1.7	2.9	1.9	0.2	3.5	2.4	1.2	0.2	
	鼻・副鼻腔疾患	8.7	9.0	7.0	4.7	9.1	10.4	7.7	6.4	8.3	7.5	6.2	2.9	
	口腔咽喉頭疾患・異常	1.7	3.6	1.1	0.2	2.1	4.1	1.1	0.1	1.2	3.1	1.0	0.3	
歯・口腔	むし歯	計	X	76.4	67.1	78.3	X	77.0	65.1	76.5	X	75.7	69.1	80.2
		処置完了者	X	33.8	33.1	39.4	X	33.8	31.9	37.0	X	33.8	34.3	41.8
		未処置歯のある者	X	42.6	34.0	38.9	X	43.3	33.2	39.5	X	41.9	34.8	38.4
	歯列・咬合		2.1	3.5	4.0	4.2	2.9	3.1	3.9	2.7	1.3	3.8	4.2	5.8
	顎関節		0.3	0.2	0.3	0.0	0.7	0.1	0.2	0.0	—	0.3	0.3	0.0
	歯垢の状態		0.1	4.1	6.9	5.3	—	4.6	7.7	6.6	0.1	3.5	6.0	4.0
	歯肉の状態		—	2.3	6.8	8.8	—	2.3	7.5	10.8	—	2.3	6.0	6.9
	その他の疾病・異常		0.5	3.8	2.5	0.4	0.3	4.0	3.0	0.4	0.7	3.7	1.9	0.5
(平均むし歯数)	計 (本)		…	…	2.1	…	…	1.8	…	…	…	2.5	…	
	喪失歯数 (本)		…	…	0.0	…	…	0.0	…	…	…	0.0	…	
	むし歯(う歯)	計 (本)	…	…	2.1	…	…	1.8	…	…	…	2.5	…	
		処置歯数 (本)	…	…	1.3	…	…	1.1	…	…	…	1.5	…	
		未処置歯数 (本)	…	…	0.8	…	…	0.7	…	…	…	0.9	…	
栄養状態		—	2.5	1.4	2.0	—	3.0	1.7	2.0	—	1.9	1.0	2.0	
せき柱・胸郭		—	0.4	0.2	0.4	—	0.2	0.2	0.4	—	0.6	0.2	0.3	
疾皮膚	アトピー性皮膚炎	1.7	7.5	4.5	4.6	1.7	7.6	4.5	4.8	1.7	7.4	4.5	4.3	
	その他の皮膚疾患	0.9	0.4	0.3	0.2	0.6	0.4	0.3	0.2	1.2	0.3	0.2	0.2	
結 核		…	0.0	—	0.0	…	—	—	0.0	…	0.0	—	0.0	
検結核に	委員会での検討を必要とする者	…	0.6	0.5	…	…	0.6	0.4	…	…	0.6	0.5	…	
	結核の精密検査の対象者	…	0.2	0.0	…	…	0.2	0.0	…	…	0.2	0.0	…	
心臓の疾病・異常		0.2	1.1	0.8	0.8	0.2	1.2	0.7	0.8	0.2	1.0	0.9	0.8	
心電図異常		…	1.8	1.8	2.0	…	2.4	2.0	2.3	…	1.2	1.5	1.8	
たんばく検出の者		0.1	0.3	1.2	1.5	—	0.3	1.4	1.8	0.2	0.3	1.0	1.2	
尿糖検出の者		…	0.0	0.2	0.3	…	0.0	0.1	0.5	…	0.1	0.3	0.2	
寄生虫卵保有者		—	0.3	…	…	—	0.3	…	…	—	0.3	…	…	
疾そ病の異常の	ぜん息	1.0	4.9	2.3	1.9	1.4	6.1	2.8	2.3	0.6	3.7	1.8	1.6	
	腎臓疾患	—	0.2	0.2	0.2	—	0.3	0.2	0.2	—	0.1	0.2	0.1	
	言語障害	—	0.2	0.1	0.0	—	0.3	0.1	0.0	—	0.1	0.0	—	
	その他の疾病・異常	0.1	2.1	2.6	2.6	0.1	2.1	2.3	2.1	0.1	2.1	2.9	3.0	

- (注) 1 この表は健康診断受験者のうち、疾病・異常該当者 (疾病・異常に該当する旨健康診断表に記載のあった者) の占める割合を示したものである。
 2 小数点以下第2位を四捨五入しているため、計と内訳が一致しない場合がある。また、表中の符号については、P 2 下の囲みを参照のこと。

C 肥満傾向児および痩身傾向児の出現率

1 肥満傾向の者

肥満傾向児の出現率は、男女とも小学校高学年から高くなり始め、男子は11歳で14.6%と最も高くなり、女子は13歳で8.6%と最も高くなっている。

男女を比較すると、5歳、6歳および13歳を除いては男子の出現率の方が高くなっている。

全国平均値と比較すると、男子では7歳、8歳、10歳、11歳および16歳では、全国平均値を上回っているが、他の年齢では全国平均値を下回っている。女子では6歳を除いてすべての年齢で、全国平均値を下回っている。

表15 全国平均値との比較(肥満傾向児の出現率)

(単位%)

区 分		男			女		
		福井県	全 国	差	福井県	全 国	差
		a	b	(a-b)	a	b	(a-b)
幼稚園	5歳	1.8	2.8	▲ 1.0	2.1	3.0	▲ 0.8
	6歳	4.5	4.8	▲ 0.3	5.1	4.7	▲ 0.4
小学校	7歳	7.4	6.8	▲ 0.6	4.5	5.7	▲ 1.2
	8歳	8.3	8.1	▲ 0.2	5.8	7.5	▲ 1.7
	9歳	7.7	10.2	▲ 2.6	4.4	8.2	▲ 3.7
	10歳	12.7	11.6	▲ 1.1	7.7	8.9	▲ 1.2
	11歳	14.6	11.6	▲ 3.0	5.7	9.5	▲ 3.8
中学校	12歳	9.5	12.4	▲ 2.9	7.9	9.7	▲ 1.8
	13歳	6.9	10.8	▲ 4.0	8.6	9.0	▲ 0.4
	14歳	8.8	10.2	▲ 1.5	8.0	8.8	▲ 0.8
高等学校	15歳	12.0	13.5	▲ 1.5	3.8	9.9	▲ 6.1
	16歳	14.0	12.9	▲ 1.1	7.3	9.2	▲ 1.8
	17歳	10.9	12.9	▲ 2.0	8.0	9.2	▲ 1.3

(注)四捨五入の関係で、表中のaとbの差と、差(a-b)の数値が一致しないことがある。

2 痩身傾向の者

痩身傾向児の出現率は、男女とも全体的に低く、男子は11歳が2.9%で最も高く、女子は13歳が3.3%で最も高くなっている。

男女を比較すると5歳、8歳～11歳を除いては女子の出現率の方が高くなっている。

全国平均値と比較すると、男は9歳、11歳、12歳および17歳を除いて全国平均値を下回っている。女は14歳と17歳を除いて全国平均値を下回っている。

表16 全国平均値との比較(痩身傾向児の出現率)

(単位%)

区 分		男			女		
		福井県	全 国	差	福井県	全 国	差
		a	b	(a-b)	a	b	(a-b)
幼稚園	5歳	0.1	0.3	▲ 0.1	0.1	0.4	▲ 0.3
	6歳	0.0	0.4	▲ 0.4	0.3	0.6	▲ 0.3
小学校	7歳	0.0	0.4	▲ 0.4	0.4	0.7	▲ 0.3
	8歳	0.8	0.9	▲ 0.0	0.4	1.1	▲ 0.6
	9歳	2.1	1.6	▲ 0.5	1.2	1.8	▲ 0.6
	10歳	2.4	2.5	▲ 0.1	1.8	2.9	▲ 1.1
	11歳	2.9	2.9	▲ 0.1	2.9	3.4	▲ 0.5
中学校	12歳	2.8	2.4	▲ 0.4	2.9	4.0	▲ 1.1
	13歳	0.9	1.6	▲ 0.7	3.3	3.6	▲ 0.3
	14歳	1.5	1.6	▲ 0.1	3.2	2.7	▲ 0.5
高等学校	15歳	2.0	2.4	▲ 0.4	2.2	2.4	▲ 0.2
	16歳	0.7	1.7	▲ 1.0	1.5	1.8	▲ 0.3
	17歳	1.4	1.4	▲ 0.0	2.5	1.4	▲ 1.1

(注)四捨五入の関係で、表中のaとbの差と、差(a-b)の数値が一致しないことがある。

図 1 8 肥満傾向児の出現率（全国平均値との比較）

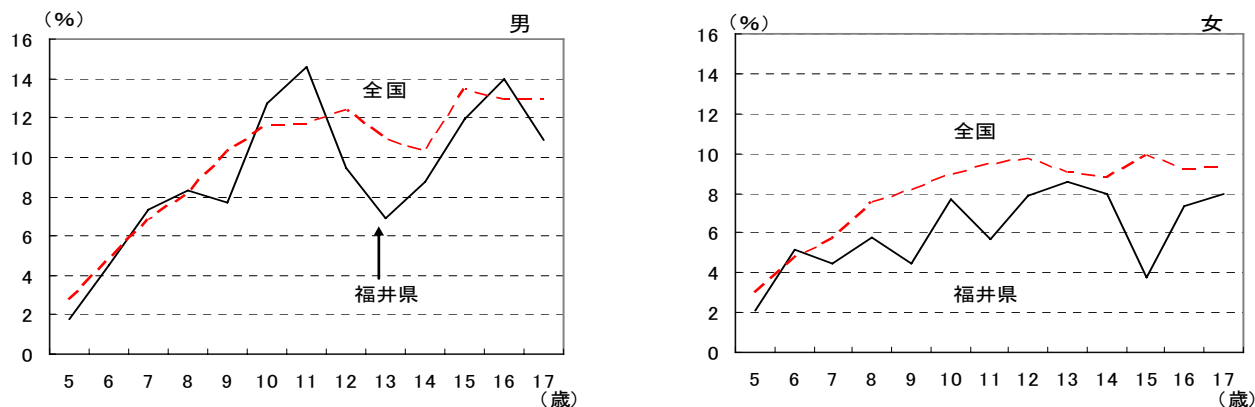
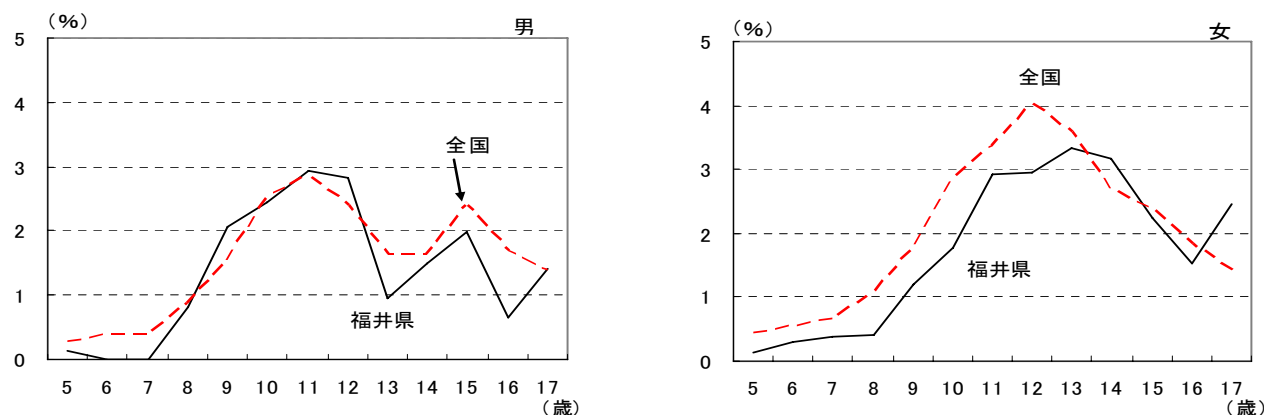


図 1 9 痩身傾向児の出現率（全国平均値との比較）



肥満傾向児・痩身傾向児の算出方法について

- 以下の式により、性別・年齢別に身長別標準体重から肥満度（過体重度）を求め、肥満度（過体重度）が20%以上の者を肥満傾向児、-20%以下の者を痩身傾向児とする

$$\text{肥満度（過体重度）} = \left[\text{実測体重(kg)} - \text{身長別標準体重(kg)} \right] / \text{身長別標準体重(kg)} \times 100 (\%)$$

※身長別標準体重の求め方
(係数 a, b は表を参照)

$$\text{身長別標準体重} = a \times \text{実測身長 (cm)} - b$$

年齢 \ 係数	男		女	
	a	b	a	b
5	0.386	23.699	0.377	22.750
6	0.461	32.382	0.458	32.079
7	0.513	38.878	0.508	38.367
8	0.592	48.804	0.561	45.006
9	0.687	61.390	0.652	56.992
10	0.752	70.461	0.730	68.091
11	0.782	75.106	0.803	78.846
12	0.783	75.642	0.796	76.934
13	0.815	81.348	0.655	54.234
14	0.832	83.695	0.594	43.264
15	0.766	70.989	0.560	37.002
16	0.656	51.822	0.578	39.057
17	0.672	53.642	0.598	42.339

福 井 県 総 務 部 政 策 統 計 課

〒910-8580

福井市大手3丁目17番1号

電話 0776-20-0274 (ダイヤルイン)

0776-21-1111 (代表)

内線 2375 (人口労働統計グループ)

福井県統計情報システム <http://toukei.pref.fukui.jp>